

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成27年度 講義要目(シラバス)

科目名	情報メディア先端演習
英文名	Advanced Topics on Information Design and Multi Media
学部学科	先端科学技術研究科 情報通信メディア工学専攻
配当学年	1・2・3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	岩井 将行

目的概要	この科目は第1年次に受講することを原則とし、各学生の指導教授の下に、学生の研究の進捗度に合わせて将来の研究のための調査研究や具体的な研究課題を設定して研究を行う。実施方法は研究課題等に依存して決められる。具体的な実施に当たっては指導教員と十分に検討すること。また科目の評価は具体的な実施方法や研究の進捗状況などにより決められる。
教科書名	特に指定しない。学生が自ら検索するようにする。または研究や論文の進捗状況に応じて紹介する。
参考書名	特に指定しない。学生が自ら検索するようにする。または研究や論文の進捗状況に応じて紹介する。
評価方法	研究の実証実験を行いその結果の分析過程、評価手法などを見ることにより、その習得度を総合的に評価する。評価方針、評価データ収集方法や分析は正確性を総合的に評価する。
テーマ・内容	<p>テーマは以下とする-車両CANデータと車載のスマートフォンを用いた燃費予測研究 -車両の移動軌跡からのドライバの状態判定の研究-キネクト、環境センサ、スマートフォンを用いたサイネージの研究 -アンテナの透明化とその応用に関する研究-(人間)CO2センサを用いたモバイル環境センシング -気象予測を用いた土砂災害地域のセンサネットワークのシミュレーション -土砂崩れを事前検知するセンサデータ処理の研究 -NFCとQRを用いた震災アーカイブ、防災システム、フィールドミュージアム -高性能の水位センサ、発電機能を搭載したセンサネットワークに関する研究 -スマートフォンを持つセンシングとインセンティブに関する研究 -マイクロブロッグを用いた人の流れ、イベント検知に関する研究 -センサを用いた人とグループの行動認識とサイネージ</p> <p>またこれらの研究にあたり、(1)実験計画立案のための問題調査と分析、(2)概略実験計画および詳細実験計画立案、(3)実験手順・方法の計画と評価、(4)実装、(5)実験データ収集と整理、(6)実験データ分析と評価、(7)実験報告書と問題点解決のための分析力の醸成、(8)学会論文報告 などを計画のもと行う</p>
E-Mail address	iwai@im.dendai.ac.jp
履修上の注意事項・学習上の助言	学会等で発表を行うなど、計画的に研究を進め、博士学位論文を作成していく。具体的な指示は、研究指導教員から行う。